

# 長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会 会 議 次 第

令和4年5月28日（土） 16：00～ 於 飯山高校 大会議室  
進行 事務局担当 渡辺 藤夫

- 1 開会の言葉
- 2 委員長あいさつ
- 3 校長あいさつ
- 4 議 事 （議長：委員長）
  - (1) 「準備委員会」から「実行委員会」への名称変更について
  - (2) 会則について
  - (3) 組織図について
  - (4) 120周年記念式典・講演会の開催日時について
  - (5) 各事業及び施設の改修について
  - (6) 募金の開始時期と金額について
- 5 部会ごとの相談 （事業企画内容と予算請求）
- 6 閉会の言葉

# 長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会 会則

## 第 1 章 総 則

### 第 1 条 (名称)

本会は「長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会」と称する。略称を使うときは「飯山高校創立 120 周年記念事業実行委員会」とする。(以下実行委員会と表わす)

### 第 2 条 (目的)

本会は飯山高等学校の創立 120 周年記念事業(北 120 年、南 100 周年、照丘 75 年、統合 15 年)を行うことを目的とする

### 第 3 条 (事務局)

本会の事務局を長野県飯山高等学校内(〒389-2253 飯山市大字飯山 2610 番地)に置く。

### 第 4 条 (委員の構成)

本会は、校長、教頭、事務長、および、桂雪会(同窓会)の正副会長、飯山高等学校 PTA の正副会長、桂雪会の幹事、支部長、校内幹事によって構成する。

顧問として、関係市町村の首長、桂雪会顧問、PTA 顧問、飯山高校の歴代校長をおく。

## 第 2 章 組 織 及 び 役 員

### 第 5 条 (役員) 本会に次の役員を置く。

委員長	桂雪会会長
副委員長	桂雪会副会長、PTA 会長、校長
会 計	事務長、同窓会事務局
監 事	桂雪会監事 PTA 監事
顧 問	関係市町村の首長、桂雪会顧問、PTA 顧問、飯山高校の歴代校長

### 第 6 条 (組織) 本会は第 2 条の目的を達成するため、次の機関をおく

総 会	本会の最高議決機関であり、桂雪会(飯山高等学校同窓会)の総会時に行う
常任委員会	委員長、副委員長、桂雪会正副幹事長、桂雪会事務局で構成する 各部会の計画立案について部会間の連絡調整を行う
専門部会	総務、式典・祝賀会、記念誌、事業、募金の部会をおく。 部会長は、桂雪会幹事から選出する。

### 第 7 条 (議決) 本会の議決は以下のとおり

各機関の議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。

### 第 8 条 (任期)

委員の任期は令和 3 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日までとする。宛職によって選出される委員はその職の任期とする。

委員に欠員が生じたときの任期は前任者の残任期間とする。

## 第 3 章 会 計

### 第 9 条 本会の経費は、桂雪会(同窓会)の負担金、PTA の負担金、募金をもって充てる。

### 第 10 条 本会の会計年度は 4 月 1 日から 3 月 31 日までとする。

## 第 4 章 附 則

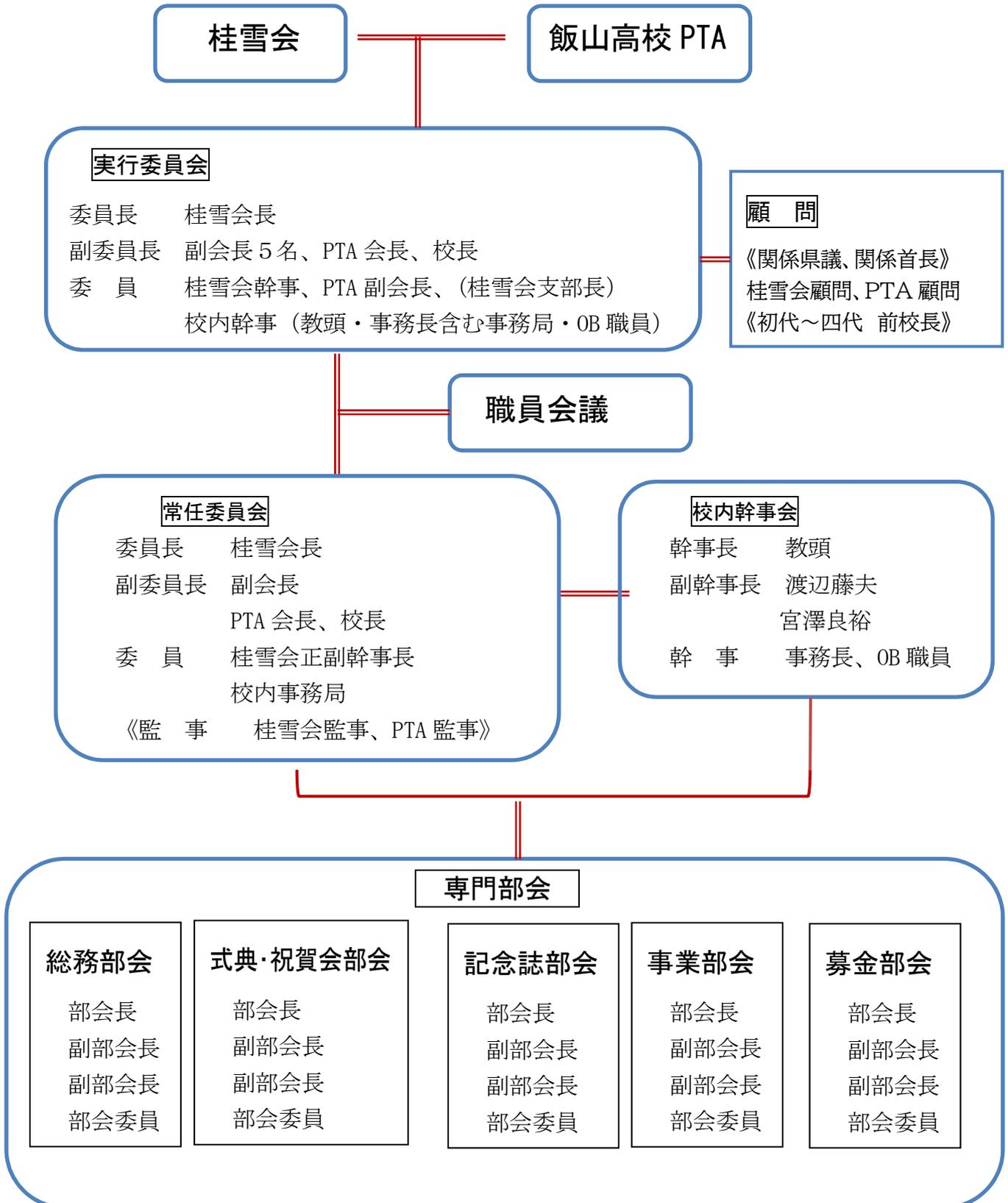
### 第 11 条 本会の会則の改廃は、総会の出席者の 3 分 2 以上の賛成を必要とする。

### 第 12 条 本会則は令和 4 年(2022 年) 4 月 1 日から適用する。

長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業準備委員会 (2020 年 6 月～2022 年 3 月)  
 →創立 120 周年記念事業実行委員会へ (2022 年 4 月～2023 年 10 月)

長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会組織図

《 》 は実行委員会から



c

部会組織(案)

部 会	顧 問	部会長	副部会長	部員代表	部 員
役職	桂雪会副会長 PTA 正副会長・元 同窓会長・校長	幹事 5 名	幹事 11 名	教頭・事務長 同窓会係	校内幹事 15 名 (各部会 3 名)
総務部会	瀧澤 俊實 (大平 PTA 会長)	上海 一徳	新家 智裕 吉越 利明	小林 教頭 渡辺 藤夫 宮澤 良裕	丸山 大樹 山岸 禅 渡邊 智
式典・祝賀 会部会	太田 良夫 (湯本 校長)	湯本 直木	澤木 伸一 島田 和彦	宮澤 良裕 久保田真一郎	荻原 真理子 山野井美智子 (河野 安雄) 弓削 眞子
記念誌部会	高橋 彰 (森 司朗 ) (関 保典 )	大塚 正	岡田 敬幸 小田切 昇	渡辺 藤夫 矢崎 悠喜	(清水 信一) 高橋 幸一郎 岩上 寿昭
事業部会	小嶋 日出子 (PTA 副会長)	小橋 浩樹	山崎 美典 藤本 智教 小山 巧	小林幸太郎 久保田真一郎 宮崎事務長	山崎 皓 中村 英 金澤 真菜 北條 恵
募金部会	内山 英樹 箕口 徳夫 (PTA 副会長)	村石 桂太郎	藤巻 篤 川久保 直市	小林幸太郎 矢崎 悠喜 宮崎事務長	石澤 一芳 小嶋 静一 月岡 美来 (浦野 幸夫)

※ 正副支部長さん方には募金活動に協力をいただく。

※ P T A の正副会長さんには P T A 評議員会です承をいただく予定。

## 「飯山高等学校創立120周年記念事業」の骨子(Ⅱ)

1 事業名 『飯山高等学校創立120周年(南100年、照丘75年、統合15年)記念事業』

2 実施日 令和5年(2023年)10月14日(土) (第2候補7日(土))

3 テーマ 「弗為胡成 ～未来へのレガシー創造～」

### 4 事業内容

### 経費概算

- ① 記念式典・講演会 講師 協和キリン CEO 宮本昌志 (内諾) 【50万円】
- ・会場 飯山高校 大体育館 午前 〇時〇〇分～
  - ・参加者 生徒・職員・学校関係者・来賓(県教育委員会・市町村長・市町村教育委員会・中学校長・H15～16年以降の校長、同窓会長・PTA会長)・実行委員会・旧職員・一般・その他
  - ・式典の中で校歌演奏(吹奏楽)+斉唱、その後 記念講演会
- ② 記念祝賀会 【200万円】
- ・会場 「なちゅら」 午後 〇時〇〇分～
  - ・会費 5000円程度の立食パーティー
  - ・祝賀会を盛り上げるアトラクション・演出 ・記念撮影
- ③ 記念誌の刊行 (H15年以降を中心に、統合の歴史を) 【800万円】
- ・H15～H21年の3校の様子
  - ・第1次統合の経緯とH19年～H28年の飯山高校の様子
  - ・H19～H28年の飯山北高の様子
  - ・H26年～2次統合校としての飯山高校
  - ・SSH・吹奏楽・甲子園・スキーインターハイ等の活躍
  - ・同窓会の統合～桂雪会発足への道のり～ ・PTA統合の歩み ・2000冊程度を予定
- ④ スキー記念プレートの設置とスキー部100年展および講演会 【250万円】
- ・体育館南側の擁壁に全国高校スキー大会総合優勝の歴史プレート
  - ・2021年2月飯山スキーインターハイ記念プレート
  - ・スキー部100年パネル展&資料展(2023年10月)
  - ・記念講演会・・・OB・OG会総会時(2023年11月)
- ⑤ 野球部記念試合、甲子園出場の軌跡、記念植樹、講演会 【100万円】
- ・野球部記念試合(2023年9月頃)
  - ・記念植樹 (校舎北側、北町区火の見櫓付近、タモの木12本)
  - ・甲子園への軌跡パネル&資料展(2023年10月)
  - ・講演会(2023年2月OB会総会時等)

- ⑥ SSHの歩みと未来展&SSH記念講演会 【50万円】  
 ・SSHの歩みパネル&資料展(2023年10月)  
 ・SSH記念講演会(2023年の講演会)
- ⑦ 施設設備の改修(募金状況により番号順に優先して実施)  
 (i) 合宿所のリフォームによる「地域・教育交流会館」の設置 【1,816万円】  
 ・合宿所 H2年3月竣工、鉄骨コンクリート2階建て 延べ面積276㎡ 校地の北東に位置  
 ・現在は、宿泊なし、弦楽器・百人一首・軽音楽の練習場所として使用  
 ・改修内容 ①既存の屋根の上にカラー鉄板葺き ②外壁新規吹付塗装  
 ③1階ホール改修(シャワー室・管理室の撤去と床のフローリング化・壁天井張り替え)  
 ④2階畳部屋改修(押し入れ撤去、床フローリング、壁天井張り替え)
- (ii) 弓道場の外壁・内壁床の改修 【814万円】  
 ・弓道場 S48年11月に落成 鉄骨・トタン張り 第2グラウンド南西に位置  
 ・R元年9月に浸水し、床の傷みが激しく、壁材のトタンもさびびて穴あき状態  
 ・屋根は数年前に塗装した。  
 ・改修内容 ①外壁の張替え ②内壁無垢板張り ③一部床張り替え ④照明のLED化
- (iii) 第2グラウンドのトイレ新設 【1,003万円】  
 ・現在弓道場の外に付帯(男子小便器2、個室和洋1ずつ 水洗 男女共用)  
 ・女子が入りにくい。女子ソフトボールやテニスの女子は学校まで戻ってトイレに行く状況  
 ・トイレの新設を要望・・・木造・平屋・男女別のトイレ・男子小2、大1・女子個室
- ⑧ 飯山北・飯山南・飯山照丘の校歌CD作成 【20万円】  
 ・同窓生の世代間を超えた交流と飯山高校をつなぐ象徴として位置づけて歌い続けたい  
 ・校歌を吹奏楽による演奏と全校による斉唱で録音(あるいはこれまでの音源を活用)
- ⑨ 新聞広告、テレビ番組、 【600万円】
- ⑩ 記念グッズ(30万)・リーフレット(20万)・DVD作成(50万) 【100万円】
- 計 5,803万円

## 5 創立120周年記念事業準備委員会の組織

【委員長】 桂雪会長 【副委員長】 桂雪会副会長 PTA会長 校長

【委員】 桂雪会幹事 PTA副会長 桂雪会支部長 校内幹事(教頭・事務長およびOB職員)

【部会組織】 総務 式典・祝賀会 記念誌 事業 募金

## 6 募金について (1) 目標総額 6,000万円

(2) 募金種類 (A) 施設設備改修対象 税金の控除有 篤志寄付 目標額 4000万円  
 2022年9月～2023年9月の1年間

(B) 記念事業費用対称 税金の控除なし 一般同窓生向け 目標額 2000万円  
 2022年9月～2023年10月の1年余

(3) 募金方法 サラトによる趣意書・納付書の郵送(費用は約270万円)  
 企業等への募金お願い活動・支部への募金協力依頼

## 施設設備の改修事業（別資料）

## 〔1〕合宿所のリフォームによる「地域・教育交流会館」の設置 【1,816万円】

## (1) 合宿所の状況

- ・ H2年3月竣工、鉄骨コンクリート2階建て 延べ面積 276 m<sup>2</sup> 校地の北東に位置する。
- ・ 新入生のクラス宿泊研修やクラブ活動の合宿施設を目的に全県立高校に建設された。
- ・ その後、クラスの宿泊研修は行われなくなり、シャワーの故障などがありクラブの合宿などでも利用されなくなり久しい。
- ・ 近年は、弦楽器部・百人一首部・軽音楽同好会の練習場所として使われている。
- ・ 屋根・外壁は傷んできているが改修は行われていない。内部もトイレや食堂は使用可能だがボイラーは使えない。内部の改修も行われていない。
- ・ 今後県としても改修や用途については見通しが無い。



## (2) 改修後の使用目的

- ・ 生徒の放課後や休日の学習室としての利用。(桂雪アカデミー等)
- ・ クラブ活動場所の確保
- ・ 地域教育や学校教育のための交流場所・会議等の利用
- ・ 休日等の教育文化活動場所
- ・ 同窓会関係資料保管・展示場所
- ・ その他

- (3) 改修内容
- ① 既存の屋根の上にカラー鉄板葺き
  - ② 外壁新規吹付塗装
  - ③ 1階ホール改修(シャワー室・管理室の撤去と床のフローリング化・壁天井張り替え)
  - ④ 2階畳部屋改修(押し入れ撤去、床フローリング、壁天井張り替え)

## 〔2〕 弓道場の外壁・内壁・床の改修

【814万円】

### (1) 弓道場の状況

- ・ S48年11月に落成 鉄骨・トタン張り、内壁なし 第2グラウンド南西に位置する
- ・ 飯山北高校70周年の際に、第2グラウンド造成(県の事業)および体育施設の建設(同窓会・PTA)で行い、県に寄付採納したと推測される。
- ・ 県立高校の規格より大分大きい。面積  $13.0\text{m} \times 9.1\text{m} = 118.3 \text{m}^2$
- ・ R元年9月に浸水し、床の傷みが激しく、壁材のトタンもさびびて穴あき状態
- ・ 屋根は数年前に塗装した。雪は落下式。



### (2) 改修目的

- ・ 外壁の改修により、建物の維持・保全を図る
- ・ 内壁を板張りにすることによって、外気の侵入を防ぎ、暖房効率の向上を図る。
- ・ 照明のLED化により、照度の向上を図り、生徒の視力低下への影響を防ぐ
- ・ 教育環境として望ましい環境に近づける

### (3) 改修内容

- ① 外壁の張替え
- ② 内壁無垢板張り
- ③ 一部床張り替え
- ④ 照明のLED化

### 〔3〕 第2グラウンドのトイレ新設

【1,003万円】

#### (1) トイレの現状

- ・ 現在弓道場の外、南側に付帯（男子小便器2、個室和洋1ずつ 水洗 男女共用）
- ・ 女子が入りにくい。女子ソフトボールやテニスの女子は学校まで戻ってトイレに行くようにしている
- ・ 水回りの設備は修繕しながら使用している状況。冬期間は水栓を閉めて使用不可となる。
- ・ 第2グラウンドで活動する女生徒の数が増えており、不自由な活動状況である。
- ・ トイレの建物はブロック造りで、弓道場からの落雪により、横方向への強い力が加わり損傷する可能性がある。



#### (2) トイレ新設の要望

- ・ 木造平屋・男女別のトイレ・男子小2、大1・女子個室3
- ・ グラウンド倉庫と現トイレの間に建設
- ・ 片屋根の落雪方式 乾式トイレ

※ 県に建設の陳情を行うことで、県予算で建設することが実現可能か？